



今回は、「給湯機の比較ポイント」についてのお話です。

お風呂やキッチン、洗面にお湯はかかせません。お湯を作る給湯機が壊れたら修理をするか交換するようになりますね。今回は、たくさんの種類がある給湯機についてどんなメリット・デメリットがあるのかを比較してみました。



給湯機の種類	メリット	デメリット
石油給湯機	・パワフルな割に経済的 ・設置コストが比較的安い	・石油独特の臭いやバーナー作動音がする ・定期的に給油が必要
ガス給湯器	・コンパクトで場所を取らない ・給湯圧力が高い	・燃料代が比較的高い ・LPガスボンベの場合、定期的に交換の手配が必要
電気温水器	・シンプルな構造なため長寿命 ・お湯を沸かす際に音がしない	・お湯を貯めておくタンクの設置スペースが必要 ・エコキュートに比べてランニングコストが高い
エコキュート	・月々のランニングコストが安い ・環境にやさしい	・初期費用がかかる ・本体とヒートポンプユニットを設置するスペースが必要

初期費用を考えるとガス給湯器、石油給湯機がお求めやすいですが、月々の費用は深夜電力を使いヒートポンプで空気の熱を集めお湯を沸かす『エコキュート』が断然お得！エコキュートや電気温水器は定期的に給油やガス充填の手配をする必要ないという点も人気の秘密。給湯機の種類が決まったら、次は機能の選択です。また、家族の人数や給湯箇所の数により能力やタンクの容量を決めるようになります。

フルオート	セミオート	給湯専用
スイッチひとつで風呂の「お湯張り・保温・足し湯・追い炊き」を全自動でしてくれます。全ておまかせの楽々タイプ。	風呂の「お湯張り」が自動でできます。お湯が冷めた場合の「差し湯」や「足し湯」は手動となります。	シンプルな給湯専用タイプ。お風呂の自動お湯張りなどの機能はありません。

エコキュートが人気！

最近、評判を聞いてエコキュートをお選びいただくお客様が増えております。



←ケース①
キッチン・浴室・洗面と水廻りリフォームの際にフルオート追焚付エコキュートにされたK様。



←ケース②
7人家族のS様、550Lのエコキュートだからお湯切れの心配なし。IHクッキングヒーターも導入。

ケース③
新築して1年で370Lフルオート追焚付エコキュートに取り替えたK様、商品+工事費込み費用は60万円(電力申請費込)でした。

井戸水対応のエコキュートもございますのでご相談ください。

※価格は参考価格です。お見積りは無料ですのでお気軽にご相談下さい。

お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部